



平成26年度 岡山県立勝間田高等学校 学校経営計画書



スクールアイデンティティ

知性を磨き、心身を鍛え、
将来の地域社会を担う心豊かでたくましい人づくり。

1 本校のミッション

◎総合学科・専門学科それぞれの特色を生かし、生徒の持つ潜在的な能力を様々な学習活動を通じて引き出し、進路希望を実現させる。

2 教育目標

- (1) 誠実・明朗で勤労精神にあふれ、真摯に努力する心身共に健全な人材を育成する。
- (2) 自律と責任のもと、創意工夫により社会の変化に積極的に対応し、地域社会に貢献する人材を育成する。
- (3) 郷土の文化や自然を愛し、心豊かで生涯にわたり学び続ける姿勢を持った人材を育成する。

3 教育目標実現のためのビジョン

- (1) 地域に信頼され、中学生が入学を希望したくなる学校。(どの学科も希望者が募集定員を上回る)
- (2) 総合学科・専門学科併設校の特色や教育資産を生かし、地域に根ざした特色ある学校づくりをめざす学校。
- (3) 職員が一枚岩となって指導にあたり、礼儀、礼節、規範意識を徹底して育てる学校。
- (4) 保護者、生徒、教職員が誇りを持てる学校。
- (5) 美しく整然とし、活気ある学校。
- (6) 地域の教育力を生かすと共に、常に地域に開かれた学校。

4 教育目標実現のための中長期的戦略

- (1) 学科改編により、地域や保護者・学校関係者等の要望や地域の実情を踏まえた新しい魅力ある学校・学科づくりを進める。
- (2) 生徒指導の徹底を第一の目標とし、規範意識の徹底した定着を図り、いじめのない『眞面目が当たり前』の明るい学校づくりを強く進める。
- (3) 「授業命」の心がけを徹底し、わかる授業・魅力ある授業、実験実習づくりを進める。
- (4) 発達段階に応じた組織的キャリア教育を推進し、100%の進路決定をめざす。
- (5) 全生徒が何らかの課外活動に所属し、一人ひとりの生徒に「やりがい」を持たせる。
- (6) 様々な悩みや、発達障害に対する支援を充実する。
- (7) 常に地域連携を念頭におき、開かれた学校づくりを進めると共に、地域の教育資産を活用し、教育活動の充実を図る。
- (8) 生徒指導など様々な指導・支援を要する場面において、地域、外部関係機関等との連携を深め、指導の充実を図る。

5 当該年度の重点取組項目と具体的な取組内容

(1) 規範意識の確立と落ち着いた学校づくりを推進する。

- ①入学時より、規範意識定着のため計画的な指導を徹底すること。
- ②学年団・学科の定期的な会議を励行し、報告・連絡・相談を密に、生徒指導の徹底を図ること。
- ③挨拶、掃除、礼節を教師自らが示し、規範意識・生活習慣を確立させると共に常に美しい学校づくりを心がけること。
- ④いじめのない、明るく、落ち着いたクラスづくりを進めること。
- ⑤心の悩みや様々な障害を抱える生徒に対する理解を図り、支援を充実させること。
- ⑥生徒が、生徒会活動、部活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動など様々な課外活動に必ず参加すること。
- ⑦生徒の自主的な保健衛生・安全管理の取り組みを推進し、自己管理力を育てること。

(2) 新しい勝間田高校の教育内容、魅力を中学校・地域等に広く周知させる。

- ①改編された学科の教育内容を一層魅力あるものにすること。
 - ・各学科、各系列の魅力ある教育内容の充実を図る。
 - ・学び直しの科目の充実を図るなど、基礎学力の一層の定着とともに学習習慣の確立を図ること。
 - ・新しい教育内容に対応した施設の整備、農場の規模適正化など、教育環境の整備を早急に進めること。
- ②改編された学校の特色ある教育内容が広く地域、関係中学校等に知られるよう、広報活動・生徒募集活動の強化を図ること。

(3) キャリア教育の一層の充実により、全員の進路決定をめざす。

- ①様々な活動を通じ、早期から進路決定に向けて意識付けを図ること。
- ②発達段階に応じたキャリア教育の充実を図ること。
- ③キャリアアドバイザーや関係機関との連携を深め進路開拓を図ること。
- ④基礎学力の充実を図ると共に、生徒の適性に応じた進路実現に向け実践的な力を育てること。

(4) わかる授業・魅力ある授業づくりを推進する。

- ①年間指導計画に沿い、授業内容を周知させると共に、計画的な授業実践を進めること。
- ②各教科・科目の特色を生かした、補助教材など一層の工夫を図ること。
- ③地域の教育資産を生かした魅力ある実験・実習づくりを図ること。
- ④他校や異校種間(小・中・特別支援)の連携や様々な研修を通じ、授業改善を図ること。